

同窓生の皆様の応援で、 遺愛吹奏楽局が最高の パフォーマンスをしました！！

「第18回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜」への遺愛吹奏楽局出演に際しまして、同窓生をはじめ、たくさんの方々から物心共に多大なるご支援をいただき、誠に感謝でした。特に東京支部の皆様が作り、本番の演奏直前に、客席から掲げてくれた応援の横断幕を見て、指揮の高久健一先生と局員達がガチガチの緊張から解放され、ほっと心とみ、リラックスでき、素晴らしい演奏につながりました。15分以内で「ハデックスブルグ 万歳」「太陽への讃歌」「愛吹ヒットパレード」の3曲を演奏したのですが、曲が進むにつれ良い音がどんどん出てきて、三曲目の「愛吹ヒットパレード」は、はちきれんばかりの遺愛女子高生パワーが炸裂し、観客を「愛吹ワールド」に引き込みました。終わった時には、割れんばかりの大きな大きな拍手が会場中に響きわたり、しばらく鳴りやみませんでした。私は演奏中から涙が出てきて止まりませんが、私だけではなく来場された多くの同窓生や保護者の皆さんも同様だったようです。



演奏後の記念写真

結果は1日目出場の22校のなかで準優勝（会長賞と横浜市議会議長賞を受賞）となりました。初出場校が上位に入るのは極めて異例なことで、北から突然、衝撃のデビューをした遺愛でしたが、全国の吹奏楽関係者の記憶に深く「遺愛」という校名が刻まれ、来年のシード権も得ました。

その後に行われたプロムナードコンサートでは、一般のお客様からも拍手大喝采で、特に1曲目の讃美歌 338 番合唱は多くの聴衆の皆さんの心を打ちました。

午後4時過ぎから105名の局員と約30名の同窓生との心通う交流会を開き、最後に共に校歌を歌うことができ、本当に有り難く思いました。



プロムナードコンサート



午後4時過ぎから105名の局員と約30名の同窓生との心通う交流会を開き、最後に共に校歌を歌うことができ、本当に有り難く思いました。

2016年11月18日（金）

←吹奏楽局員と同窓生との交流会